TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

イエスの7つの「私は…である」 私は世の光である。

ヨハネによる福音書 2 章 12 節

2026 年1月 31 日 & 2 月 1 日
神永 譲(ジョエル) 牧師

はじめに

TBC 渋谷キャンパスの皆さん、そして、スバ・バプテスト教会、トンガ・バプテスト教会、TBC 三郷、TBC ウエストトウキョウの兄弟姉妹、友人の皆さんにご挨拶申し上げます。

先週までノースカロライナ州のサウスイースタン・バプテスト神学校で約 10 日間、神学校の授業に出席していた間、皆さんが祈りで支えてくださったことに感謝申し上げます。中には私がアメリカへ出発する前から祈ってくださった方もいらっしゃいました。このプログラムを修了するには、あと 2～3 年、できれば 2 年かかる見込みです。引き続きお祈りいただければ幸いです。

何週間か前、私はメッセージシリーズ、ヨハネによる福音書からイエスの7つの「私は…である」を始めました。今週は第2回目のメッセージを行います。そして、私が説教をする機会があるたびにこのテーマに焦点を当て、「私は…である」を一つずつ取り上げていきます。

イエスはこう言っています:
1.「私が命のパンである。」(ヨハネによる福音書 6:35)2025 年 12 月 27&28 日
2.「私は世の光である。」(ヨハネによる福音書 8:12)
今日のメッセージ
3.「私は門である。」(ヨハネによる福音書 10:9)
…2026 年 2 月 21&22 日
4.「私は良い羊飼いである。」(ヨハネによる福音書 10:11)2026 年 5 月 2&3 日
5.「私は復活であり、命である。」(ヨハネによる福音書 11:25－26)
6.「私は道であり、真理であり、命である。」(ヨハネによる福音書 14:6)
7.「私はぶどうの木。」(ヨハネによる福音書 15:5)

メインの箇所:ヨハネによる福音書 8:12

イエスは再び言われた。「私は世の光である。私に従う者は闇の中を歩まず、命の光を持つ。」

イメージ:航空機トイレの照明

数日前、東京行きの帰りの便で、私は機内の非常口近くの席に座っていました。私は足を伸ばせるこの快適な空間が気に入っています。ほぼ目の前、2～3 メートル先にトイレが二つありました。用を足す時には非常に便利な位置にあります。特に窓側の席なら、誰かを起こしたり邪魔したりする必要もありません。しかし、私は三度ほど、数人の乗客の行動にとても不安を覚えました。どういうわけか、彼らはトイレのドアを施錠しなかったのです。ドア上部の光の色でそれがわかりました。それは「緑」で、「空室」を意味していました。もしドアが施錠されていれば「赤」、つまり「使用中」となったはずでした。案の定、他の乗客はドアを開けてしまいました。なぜそうしたのでしょうか？ 彼らは「緑」の光の色を見て「空いている」と思ったのです。ここで大事なポイント:ドアの施錠を忘れないでください！ 不要かもしれませんが、航空会社は、緊急時の手順を説明する際に、誰も注意を払わないとはいえ、こうしたアナウンスも含めることを検討してほしいと思います。

「私はある(いる)」の背景

I am「私は…である。」という表現は、ギリシャ語の”ego eimi”の直訳です。

旧約聖書の出エジプト記にあるように、イスラエルの民を奴隷から解放し、エジプトから導き出すために主がモーセを呼ばれたとき、モーセは主にこう言いました:
「13 モーセは神に言った。「御覧ください。今、私はイスラエルの人々のところに行って、『あなたがたの先祖の神が私をあなたがたに遣わされました』と言うつもりです。すると彼らは、『その名は何か』と私に問うでしょう。私は何と彼らに言いましょう。」 14 神はモーセに言われた。「私はいる、という者である。」そして言われた。「このようにイスラエルの人々に言いなさい。『私はいる』という方が、私をあなたがたに遣わされたのだと。」 15 重ねて神はモーセに言われた。「このようにあなたはイスラエルの人々に言いなさい。『あなたがたの先祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である主が私をあなたがたに遣わされました。』これこそ、とこしえに私の名 これこそ、代々に私の呼び名。」(出エジプト記 3:13－15)

これが、神様が初めてご自身の名前を明かす場面です―「私はいる。」イエスが同じ名前をご自身に使うとき、文字通り神とご自身を同格にしており、ご自身を神と宣言しているのです。イエスは旧約時代の「私はいる」という者が、今あなたと共にいて、あなたに語っていると明言しているのです。

背景

イエスは仮庵の祭りの最中か、あるいはその直後に教えを説いています。この祭りは Feast of Booths(仮小屋の祭り)、あるいは Feast of Shelters(避難所の祭り)とも呼ばれ、通常 9 月下旬から 10 月中旬にかけて 8 日間行われます。現在の収穫期における神の備えを祝いながら、先祖たちが 40 年間の荒野の旅路で受けた神の忠実な備えを覚える祭りです。この時期、何千

人もの人々がエルサレムに集まります。様々な象徴や儀式を通して、彼らはイスラエル人に光を与えた「火の柱」を思い出します。また、仮小屋に滞在し、歌い踊り、客人を招いて祭りを祝います。これは喜びに満ちた祭りで、イスラエル人が何世紀にもわたって守ってきた年次行事です。人々は非常に疲れているにもかかわらず、感情が高ぶっている様子が想像できます！

ところが皮肉なことが起こります。**ヨハネによる福音書第８章**の冒頭で、律法学者とファリサイ人たちのグループがイエスのもとにやって来ます。律法学者とは、律法を書き写し解釈する専門家であり、ファリサイ人は、律法を厳格に守る宗教グループです。彼らはイエスのもとにある女性を連れて来ました。姦淫の現場で捕らえられた女性です。彼らはその女性に愛と恵みを示す代わりに、イエスを陥れる罠として彼女を利用しました。ただイエスを訴える口実を探していたのです(**ヨハネによる福音書 8:6**)。

イエスは彼らにこう言いました。**「あなたがたの中で罪を犯したことのない者が、まず、この女に石を投げなさい。」(7節)**これは、女性が石打ちの刑に処されるべきだという彼らの独善的な願いに対するイエスの応答でした。一人また一人と、彼らはイエスと女性のもとを去っていきました。するとイエスは女性に言いました。**[10b]「女よ、あの人たちはどこにいるのか。誰もあなたを罪に定めなかったのか。」[11]「女が、『主よ、誰も』と言うと、イエスは言われた。『私もあなたを罪に定めない。行きなさい。これからは、もう罪を犯してはいけない。』」(ヨハネによる福音書 8:10b—11)**

イエスはこの重要な出来事を通して、自らを「世の光」と宣言されました。世の光であるイエスは、闇の中にいる律法学者やファリサイ人たちとは対照をなしています。彼らは非難の心に満ちていますが、イエスは光そのものであるがゆえに、光に満ちています。

律法が求めるすべての儀式をもって、年間の祭りを忠実に果たそうと最善を尽くしたにもかかわらず、彼ら民衆、特に律法学者やファリサイ人たちは、内面的には何も相変わりませんでした。

イエスが**マタイ福音書 23:27** で表現したように、彼らは**「白く塗った墓に似ている。外側は美しく見えるが、内側は死者の骨やあらゆる汚れで満ちている。」**のでした。

適用：特別リバイバル礼拝
想像してみてください。TBC で８日間連続して特別リバイバル礼拝が行われることを。毎日教会に集い、賛美を献げ、神の言葉の説教に耳を傾け、什一献金を捧げ、交わりの食事を共にし、JOY カフェで福音を分かち合い、写真撮影や自撮りをして、すぐに SNS に投稿する—そんな日々が続くのです。皆が笑顔で幸せそうです！８日間、素晴らしい祝福に満ちた日々！その富士山のような霊的体験が終わると、あなたは家に帰り、仕事に行き、学校に通います。現実に戻るのです。すると突然、あなたの配偶者や友人、同僚が、あなたに関して強い否定的な言葉であなたを傷つけます。どうしますか？相手を無視しますか？話し合いますか？許しますか？それとも心の中で相手をイエスのもとに引きずり出そうとしますか？

キリスト教の活動や奉仕をすべて行ったとしても、それによって私の心もあなたの心も変わりませんし、変えることもできません。これらは、主が私たちを変えるために用いる手段となる場合はあります。しかし、私たちを変えることができるのは、世の光であるイエスだけです。これがこのメッセージの核心です：
「私は世の光である。私に従う者は闇の中を歩まず、命の光を持つ。」

イエスに従うとはどういうことか？
イエスは、「私に従う者」と言っています。 それは、祈る者、聖書を読む者、教会に来る者、献金する者、奉仕活動に従事する者、福音を伝える者、貧しい者を助ける者、病人を世話する者とも言っていません。ただ、「私に従う者」なら誰でもです。あなたはイエスに従っていますか？今日、今この瞬間、イエスに従っていますか？

ギリシャ語で「従う」を意味する言葉は” *akolouthōn*”「アコロウソン」です。この言葉は、単に誰かの後ろをついて歩くこと以上の意味を持ち、意図的な、全身全霊の応答としての結びつき、従順、そして継続的な交わりを意味します。新約聖書では、弟子としての歩みの主要な動詞として用いられ、キリストの招きを聞き、自分の中の競合する忠誠心を捨て、キリストとの忠実な交わりを続ける者の生涯を表わしています。
(出典:
https://biblehub.com/greek/190.htm)

つまり、イエスに従うことは、自分を完全に捨てることで、自らを完全にイエスに明け渡すことを意味します。

私たちがイエスを「世の光」として従うとき、イエスは私たちのために何をしてくださるのでしょうか？

1.　イエスは私たちの道を照らします。
イエスは、**「私に従う者は闇の中を歩まず、命の光を持つ。」と言います。(ヨハネ福音書 8:12)**

「主は彼らの先を歩まれ、昼も夜も歩めるよう、昼は雲の柱によって彼らを導き、夜は火の柱によって彼らを照らされた。」 出エジプト記13:21

神の臨在を表す「雲の柱と火の柱」が荒野でイスラエルの民を導き、光を与えたように、イエスもまた、この暗い世を共に歩み、ご自身に従う者たちを照らし導かれます。

イエスは世の光であるだけでなく、言(ことば)でもあります。この二重のご性質は、ヨハネによる福音書の冒頭部分ですぐに見ることができます。
「[1] 初めに言があった。 言は神と共にあった。言は神であった。…[4] 万物は言によって成った。言によらずに成ったものは何一つなかった。 言の内に成ったものは、命であった。 この命は人の光であった。[5] 光は闇の中で輝いている。闇は光に勝たなかった。」 ヨハネ福音書 1:1、4－5

詩編の作者は詩的にこう記しています。「あなたの言葉は私の足の灯 私の道の光。」 詩編 119:105

光はコミュニケーションのガイドとして機能し、意味を伝えます。一例を挙げるなら、信号機は、青い光(青信号):進め、赤い光(赤信号):止まれ、そして、黄色い光(黄色信号):減速せよ、注意せよ、を伝えます。

同様に、イエスは御言葉を通して三つの異なる色で私たちを導いてくださいます:

青い光を表わす御言葉(進め)
これらの言葉は、神様が私たちに実行するよう与えられた明確で直接的な命令です。以下に例を挙げます:

1. 「心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」…「隣人を自分のように愛しなさい。」(マタイ 22:37、39)

2.「だから、あなたがたは行って、すべての民を弟子にしなさい」(マタイ 28:19a)

3.「敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。」(マタイ 5:44)

神様が、今あなたに行うようにと求めていることはありますか？あるなら、行ってそれを実行しましょう！

赤い光を表わす御言葉(止まれ)
これらの言葉は、私たちがしてはならないことについての、神様からの明確で直接的な命令です。以下に例を挙げます:
1.「姦淫してはならない。」(出エジプト記 20:14、マタイ 5:27)

2.「何事も思い煩ってはなりません。」(フィリピの信徒への手紙 4:6a)

3.「世も世にあるものも、愛してはなりません。」(ヨハネの手紙一 2:15a)

神様が今、あなたにやめるようにと求めていることはありますか？あるなら、それをやめて、もう行わないでください！

黄色い光を表わす御言葉(減速せよ)
これらの言葉は、議論の余地のある事柄、いわゆる「グレーゾーン」に対処するために与えられています。それらを生活に適用する際には、神の知恵が必要です。以下に例を挙げます:
1. 「むしろ、つまずきとなるものや、妨げとなるものを、きょうだいの前に置かないように決心しなさい。」(ローマの信徒への手紙 14:13b)

2. 「すべてのことが許されています。しかし、すべてのことが益になるわけではありません。すべてのことが許されています。しかし、すべてのことが人を造り上げるわけではありません。誰でも、自分の利益ではなく、他人の利益を求めなさい。」(コリントの信徒への手紙一 10:23—24)

3.「[31] だから、食べるにも、飲むにも、何をするにも、すべて神の栄光を現すためにしなさい。[32] ユダヤ人にも、ギリシア人にも、神の教会にも、つまずきを与えないようにしなさい。[33] 私が、何事につけ、すべての人を喜ばせているようにです。私は、人々が救われるために、自分の利益ではなく、多くの人の利益を求めているのです。」 (コリントの信徒への手紙一 10:31—33)

議論の余地のある事柄、「グレーゾーン」領域の例:
- 肉を食べることや野菜だけを食べること
- クリスチャン音楽以外の曲を聴くこと
- 娯楽(ダンス、映画鑑賞)を楽しむこと
- 礼拝に賛美歌のみまたは現代的なワーシップソングのみを使用すること
- (時代遅れではありますが)マスクを着用するかどうか

あなたにはどうすればいいか分からないことはありますか？ それなら、減速し、祈り、神に知恵を求めましょう！

2. イエスは私たちの心を明らかにされる。
イエスはこう言っています。「私に従う者は…命の光を持つ。」(ヨハネ福音書 8:12)

イエスは私たちの道を照らすだけでなく、私たちの心をも明らかにします。イエスが心の内に宿るとき、私たちの内なる光が輝きを放つのです。「主の灯は人間の吸い込む息。腹の隅々まで探る。」(箴言 20:27)

律法学者とファリサイ人たちは「命の光」を持っていませんでした。それは姦淫の現場で捕らえられた女性への彼らの対応に表れています。イエスは彼らに、もし自分の内に罪がないというならば、この女性に石を投げなさいと言うことで、彼らの心を明らかにされました。誰も自分がやろうとしていることを行える資格はなかったのです。彼らは静かに、一人また一人と立ち去っていきました。

イエスはこう言います。「[19] 光が世に来たのに、人々はその行いが悪いので、光よりも闇を愛した。それが、もう裁きになっている。[20] 悪を行う者は皆、光を憎み、その行いが明るみに出されるのを恐れて、光の方に来ない。[21] しかし、真理を行う者は光の方に来る。その行いが神にあってなされたことが、明らかにされるためである。」(ヨハネ福音書 3:19－21)

イエスはどうやって私たちの心を明らかにされるのでしょうか。イエスが私たちの心を明らかにする主な方法の一つは、御言葉を通してです。その一例がマタイによる福音書 15:18－19 です。「しかし、口から出て来るものは、心から出て来て、これが人を汚すのである。 悪い思い、殺人、姦淫、淫行、盗み、偽証、冒瀆は、心から出て来るからである。」

私たちの言葉、そして行動もまた、私たち自身と私たちの性質について多くのことを物語っています。言葉と行動は、私たちの心の中にあるものから生み出されます。敬虔な性質という仮面を見事に演じられる人もいます。しかし内面では、苦々しさ、妬み、貪欲、憎しみ、情欲、高慢といった罪深い思いに満ちているのです。

今、神様から隠していることはありますか？神様から何かを隠せるという嘘を信じていませんか？もしあるなら、それを神様に告白し、清めていただきませんか。

結論

もう一度言います。イエスは言われました。「私は世の光である。私に従う者は闇の中を歩まず、命の光を持つ。」

もしあなたがまだ暗闇の中にいて、イエスに従うように導かれているならば、私や牧師の誰かに声をかけてください。駐車場にある「JOY カフェ」を訪れてみるのもよいでしょう。毎週日曜日の午前 9 時と 11 時の礼拝後に開いています。スタッフがお話ししたり、祈ったりするお手伝いをします。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg0526jp

TBC カレンダー
(TBC のスケジュールが確認できます)
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 401
人生の使命を発見する
2月 8 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 301 まで修了した、TBCメンバーの方

★クラス 101
教会員になるためのクラス
2月22日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

全クラス申し込み: https://t-b-c.us/classes